

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多駅中央街ビル新築工事	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅中央街	構造	SRC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,300 人
地域区分		年間使用時間	3,600 時間/年
建物用途	事務所、物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年5月19日
敷地面積	1,523 m ²	作成者	株式会社日建設計
建築面積	1,402 m ²	確認日	2016年5月19日
延床面積	17,144 m ²	確認者	反橋 浩典



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2のスコア = 4.2</p>	<p>Q3のスコア = 2.9</p>

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 4.3</p>	<p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p>LR3のスコア = 3.2</p>

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>本計画では主要用途をオフィスとして、周辺環境を考慮した植栽計画、建物形状、環境負荷低減を実現する設備計画、日よけ効果を適切にもった外装計画による熱負荷の低減など、適切な環境品質・サービス性能となる仕様を各部で想定している。</p>		<p>博多駅前の街並み形成に寄与する歩道空地や低層部に賑わいをもたらす商業空間の配置などの整備により、計画地周辺の歩者移動の活性化に寄与。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> Low-eガラスによる熱的侵入に対する高い外皮性能 加湿機能付き空調機による調湿 ブラインドと庇による室内への屋光制御 外壁や床(特にピロティ)において、室内への熱の侵入 	<p>Q2 サービス性能</p> <p>建物全体のサービス性能を上げると共に、バリアフリー新法(建物移動等円滑化基準)を満たす仕様を想定している。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>屋上緑化・沿道緑化を適宜設けることで良好な景観を形成することを想定している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>室内への日射対策を講じることで建物への熱負荷を抑制することを想定している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水・雨水利用など水資源の保護等の観点から可能な限り対策を講じ、建物の一部に再生材料の使用を想定している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>日よけ外装によるグレアの低減、屋内照明の外へ洩れる光の低減。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される